



## 20年の絆

有限会社ビジネスコンサルタント

外国人雇用管理主任者 高見千晴

2020年6月12日、兵庫県佐用町にあるSPring-8において、理化学研究所 (RIKEN)、高輝度光科学研究センター (JASRI)、台湾放射光研究センター (NSRRC) の3者による協定更新のオンライン調印式が執り行われ、同席させていただく機会をいただきました。

台湾ビームラインオフィスは、NSRRCの日本事務所として、科学技術の国際理解及び協力のため、2000年SPring-8内に開設され、2本の専用ビームライン (通称: 台湾ビームライン) を設置しました。当時、科学技術の分野において、日本と台湾の間での初の大型プロジェクトでした。この20年間、NSRRCから実験はもちろんのこと、多くの研究者がRIKEN及びJASRIの研究者から学んだ日本の科学技術を学びに来日し交流を深め、2016年には、NSRRCに新たにSPring-8と同じ第三世代放射光施設であるTPS (Taiwan Photon Source) が供用を開始しました。

今回更新時期がコロナ禍と重なったため、来日が叶わない

NSRRC側から、長年の感謝を込めてオンライン調印式を開催したいとの要望により、新たな試みとなりました。調印式では、困難な国際情勢の中を力強く生き抜く台湾の人々の柔軟性と、人と人との繋がりを重んじる国民性が、20年間の長い年月を通して築かれた「絆」となり、多くの人々の心を動かしました。終了後、自然に沸き起こった拍手と同席した方々の笑顔で会場は温かな空気に包まれていました。

今年2月当初の新型コロナウイルス感染拡大により、外国人の入国が制限されたことから、台湾人研究者の来日が困難になりました。

コロナ禍で従来の価値観が大きく変化していく中、「私たちに何ができるか」、自問自答の日々が続きますが、長期にわたる繋がりが文化を超えた安定的な信頼や理解を育むのだと思います。今後も研究活動により得られる新しい知見が持続可能な社会貢献に繋がっていくことを心から願っています。



台湾放射光研究センター (台湾新竹市)



調印式出席者 (台湾側)



調印式終了後 (SPring-8上坪記念講演)